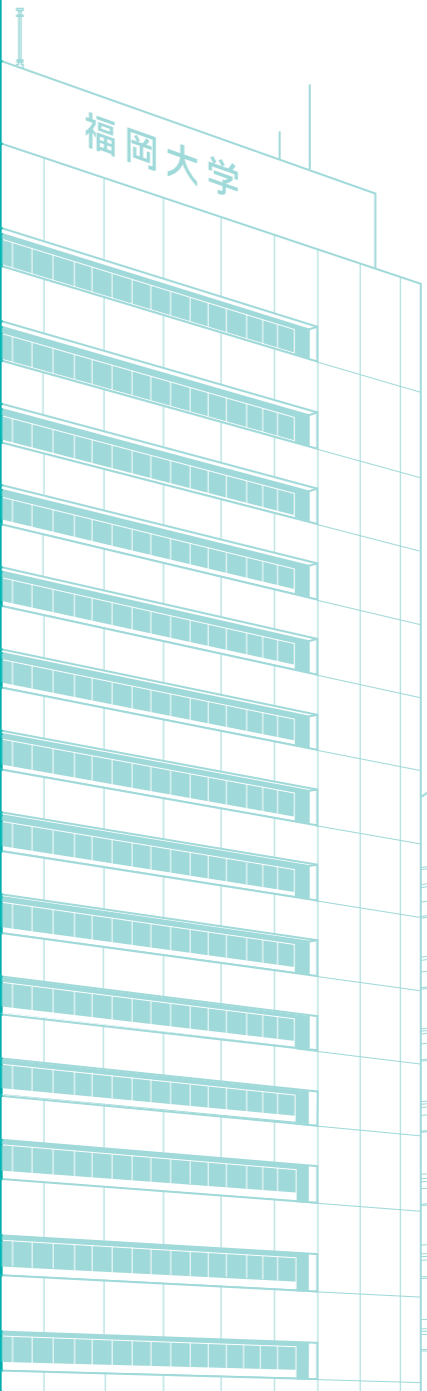


# FUKUOKA UNIVERSITY FACULTY GUIDEBOOK



## 法学部

Faculty of Law

- 法律学科
- 経営法学科



FUKUOKA UNIVERSITY

福岡大学  
学部ガイド2027



法学部  
ウェブサイト



キャンパス  
マップ

〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号  
TEL: 092-871-6631 (代)

入学センター



# JUSTICE & LEGAL MIND

私の、社会に対する思いや意見が、  
ほんとうに正義なのか。  
学び、話し合い、体験し、  
じっくり考えている。

※本冊子に掲載している人物の情報は、2025年度取材時のものです。

目次	学部長メッセージ	01
	学科紹介	02
	法律学科	02
	経営法学科	04
	カリキュラム	06
	教員からのメッセージ	08
	法学部Topics	10
	就職	14
	法科大学院	15
	法学部Q&A	16

## ▶ 法学部が入学を求める人とは— アドミッション・ポリシー

法学部は、人材養成・教育研究上の目的を達成するために、

- 1 人間性豊かな正義感・責任感の強い人
- 2 現代社会の諸問題に問題意識を持ちその解決に強い意欲を有する人
- 3 論理的思考力を身に付けたい人
- 4 コミュニケーション能力を身に付けたい人
- 5 法学および政治学を学ぶにふさわしい基礎的学力・社会的常識のある人
- 6 法学および政治学の専門知識を体系的に習得して社会貢献したい人
- 7 国際社会において法学および政治学の専門知識を生かして活躍したい人の入学を求めています。

## 学部長メッセージ

法学・政治学の勉強を通して、  
思考力・判断力・行動力を身に付けて、社会に羽ばたく

法学部長 北坂 尚洋 KITASAKA Naohiro



法は、社会の基礎となっています。どの分野に進んでも、法を知っておく必要があります。弁護士・司法書士・行政書士等の法律専門職は、当然、法を知っておかなければなりません。法律専門職でなくても、法を知っておく必要があります。例えば、教員であれば、教育基本法や学校教育法を知っておかなければなりません。車の運転免許を取得するためには、道路交通法の知識が不可欠です。法と社会は、強く結びついています。

ただ、法学部は、法を丸暗記する学部ではありません。法学部での勉強では、もちろん、法学・政治学の知識を得ることになりますが、それで終わりではありません。その知識に基づいて自分で考え、自分の意見を相手に分かり

やすく論理的に伝えることも学びます。その過程では、人の意見を聞いたり、自分で文献を調べたりして、バランスのよい結論を導き出すことが必要となり、社会で必要とされる思考力・判断力・行動力も身に付けていきます。

この学びを実現させるため、福岡大学法学部では、1年次には、全員が少人数ゼミに所属し、学習の基礎を学び、2年次からは、一人一人の目標に合わせて、コースを選択することになっています。意欲ある優秀な学生を対象とした「特修プログラム」もあります。それぞれの希望に合った選択をすることで、自分らしい充実した法学部生活を送ってください。



## ▶ 1年次からの少人数・クラス担任制で、きめ細かな指導

創立から67年を迎え、これまで優秀な卒業生を世に輩出してきた法学部。総合大学の長所を生かし、他学部との連携のもと、周辺分野を広く取り入れた法学教育を行っています。教育スタッフの盛んな学際的研究は常に最新の社会動向に対応し、講義やゼミなどの教育に反映されています。また少人数教育を重視し、将来の進路に応じたコース制を採用。さらにクラス担任制度を設け、きめ細かい学生指導を実現しています。

## 三つのポリシー

- アドミッション・ポリシー (AP) 〈入学者受け入れの方針〉
- カリキュラム・ポリシー (CP) 〈教育課程編成・実施の方針〉
- ディプロマ・ポリシー (DP) 〈学位授与の方針〉

▼ AP



▼ CP



▼ DP





## 入門ゼミで楽しく法学に触れ、将来を見据えたコース履修へ。 社会で活躍するためのリーガル・マインドを身に付ける。

将来の目標に応じて学べる3コース(「法律総合コース」・「公共法務コース」・「総合政策コース」)を設置しています。それぞれの目標の実現につながる授業を体系的に展開しています。また、1年次から少人数制のゼミを導入し、4年間を通じて濃密な学びや考察、議論に取り組むことで、社会での活躍の土台となるリーガル・マインドを身に付けていきます。

※本学部は、本学法科大学院と法曹養成連携協定を締結し、2020年3月、文部科学大臣の認定を受けました。

### 求める人材像(求める能力)

- A 知識・理解** 高等学校の教育内容を幅広く学修しており、法律学や政治学を学ぶのに十分な基礎学力(読み書きの力を含む)を有している人
- B 技能** 学んだ知識をもとに、問題解決のあり方を示すことができる人
- C 態度・志向性** 社会で生じているさまざまな問題を積極的に解決しようとする姿勢や、積極的に社会に貢献しようとする姿勢を持つ人
- D その他の能力・資質** 英語の資格を取得した人や、スポーツ活動などで顕著な成績をおさめた人

求める人材像  
(求める能力)  
の詳細は



### 法律学科での4年間

1年次	2年次	3 / 4年次	卒業後
<p><b>法律学・政治学の勉強に慣れる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>法学部生の必須アイテム「六法」の使い方を徹底的に習得します。</li> <li>法律用語も法律の論理も独特ですので、早く慣れるようにします。</li> <li>法律学の最も基礎となる憲法、民法、裁判所の仕組みを学びます。</li> <li>政治学入門では、政治社会とは何か、政治と法との関係、民主主義について学びます。</li> <li>教養科目を幅広く学びます。</li> </ul> <p>○ 法学部入門ゼミ (詳しくはP.11)。 ○ 基礎ゼミ(東京研修) (詳しくはP.12)。 ○ 憲法I, II ○ 民法入門, 民法総則 ○ 政治学入門 ○ 裁判制度概論 など</p>	<p><b>将来の進路を見据えてコースを選択する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>法律学科の学生は、2年次から3つのコースに所属します。法律総合コース、公共法務コース、総合政策コースがあります(詳しくはP.16)。</li> <li>関心の高い刑法など、専門科目が一気に増えます。ゼミも専門科目ごとに分かれます。</li> <li>法科大学院教員が指導する「特講」が始まります。</li> </ul> <p>法律総合コース 公共法務コース 総合政策コース</p> <p>※法律特修プログラム (詳しくはP.12)。</p>	<p><b>専門科目の学習を深め、進路に向けて取り組む</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>所属コースの専門科目を中心に、自分の進路を意識して学習を深めます。</li> <li>専門科目は応用科目が多くなってきます。情報法、NPO論、マスメディア論など、最先端の社会問題に取り組む科目もあります。「九州地域政策」、「警察活動の理論と実務」、「キャリアプランニング」は、現職の公務員や警察官と法学部教員が共同で授業を行います。</li> <li>4年次は演習や卒業論文で法学部の学習の総仕上げをしましょう。</li> </ul> <p>官民を問わず 広く社会に 貢献し 活躍する人材へ</p>	

### ゼミ紹介 芥川ゼミ | 演習I(刑法)

実際の事件を題材にして、犯罪が成立するかを考えています。因果関係や正当防衛など、刑法ではさまざまな抽象的な概念が登場します。これを実際の事件に当てはめてみると、新しい発見や深い理解が得られます。最初は有罪と考えていた事件でも、討論を通じて意見が変わることもあるかもしれません。これもゼミの楽しみです。



### 法学部の学習が役に立つ受験・資格

☑ 国家公務員・地方公務員 ☑ 国税専門官 ☑ 裁判所事務官 ☑ 法科大学院 ☑ 司法書士

☑ 行政書士 ☑ 宅地建物取引士 ☑ 社会保険労務士 ☑ 税理士 など

### 在学生の声



3年次生 月岡 俊介 さん  
(宮崎県 宮崎南高校出身)

1年次の学びで法律学の基礎を築く。  
法律関係職に欠かせない論述力を習得できた。

#### Q1 この学科の魅力は?

基礎をしっかり固められることです。1年次に入門ゼミか基礎ゼミのいずれかに所属し、法学を学ぶ土台を作ります。特に勉強になったのは、基礎ゼミでの国会議事堂や警視庁などを訪問した東京研修です。中央省庁や行政機関の機能を詳しく知るとともに、多様な職務内容やリアルな働き方を目の当たりにし、国や地域を支える仕事の重要性を実感しました。

#### Q2 好きな授業は?

国際的な法律問題を扱う「国際私法」です。婚姻や離婚、相続などの問題について、先生が実例を交えながら分かりやすく説明してくださるので理解が深まりました。また、模擬回答例をもとに、自分で答案作成を行う演習問題に取り組みます。その考えに至った過程や具体例を用いて説明することで、法的な論述力が鍛えられます。

#### 私の時間割(3年次前期)

	月	火	水	木	金
9:00				国際私法	英米法
10:40	知的財産法				
13:00		国際私法	知的財産法	演習II(法社会学)	民法特講I
14:40				法社会学	
16:20					法社会学

### 卒業生の声

法律を学んで培った論理的思考と対話力が  
教員として生徒に寄り添う力となった。

法学の基礎や、身の回りで生じる出来事を法律・心理・倫理など多角的な視点で学ぶうちに、人が社会で生きていく上で「ルール」と「対話」がどれほど重要なことかを深く理解しました。単に法律を知識として習得するだけでなく、論理的に考える力や課題を解決する力も身に付きました。基盤となる仕組みや考え方を若い世代に伝え、主体的に行動できる人を育てたいと思ったことが、教師の道を志したきっかけです。

学科での学びは、高校の教員である私にとって、生徒それぞれの悩みや苦しみに寄り添い、柔軟な対応を求められる際に大きな支えとなっています。進路で悩む生徒と対話し、目標に向かって努力している姿を見ると、大学で培った「考えを整理し、相手の立場に立って、課題を考察する力」が、教育活動に生きていと実感します。生徒にも知識の習得にとどまらず、自ら考え、学ぶ姿勢を身に付けてほしいと願っています。



服部 光 さん (2025年卒業)  
福岡県立八女高等学校(教諭)

# 経営法学科

Department of Business Law



## 企業における法の役割を理解し、企業法務の知識を身に付けて 経営者や国際的なビジネスパーソンを目指す。

企業法務に精通したビジネスパーソンとして活躍したい人、起業や会社経営を目指す人を対象に、会社法・経済法・知的財産法・税法などのビジネス・ローを学ぶ「企業法コース」。商社や外資系企業、旅行業などでの国際的な活躍を目指し、国際法を中心に学ぶ「国際コース」。両コースとも、実際のビジネスシーンにおける法の役割を理解し、運用する法務能力を培うカリキュラムで構成しています。あらゆる業種・業界のリーダーに求められる企業法務の知識を身に付け、将来の活躍に結び付けます。

### 求める人材像(求める能力)

- A 知識・理解** 高等学校の教育内容を幅広く学修しており、経営法学を学ぶのに十分な基礎学力(読み書きの力を含む)を有している人
- B 技能** 学んだ知識をもとに、問題解決のあり方を示すことができる人
- C 態度・志向性** 自ら立案した企画の実現に向けて積極的に取り組もうとする姿勢や、世界の状況に積極的に対応しようとする姿勢を持つ人
- D その他の能力・資質** 英語の資格を取得した人や、スポーツ活動などで顕著な成績をおさめた人

求める人材像  
(求める能力)  
の詳細は



### 経営法学科での4年間

1年次	2年次	3/4年次	卒業後
<p><b>企業法を勉強するとともに英語や国際関係に関心を持つ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 法学部生の必須アイテム「六法」の使い方を徹底的に習得します。法律用語も法律の論理も独特ですので、早く慣れるようにします。</li> <li>● 経営法学の最も基礎となる民法と裁判所の仕組みを学びます。</li> <li>● 企業法入門で、経営に関わるさまざまな法律の基礎を学びます。</li> <li>● 教養科目を幅広く学びます。</li> </ul> <p>○ 法学部入門ゼミ ○ パワーアップゼミ(専門英語ゼミ)(詳しくはP.11) ○ 国際コミュニケーション海外研修(ロサンゼルス研修)(詳しくはP.10) ○ 民法入門、民法総則 ○ 企業法入門 ○ 裁判制度概論</p>	<p><b>将来の進路を見据えてコースを選択する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 経営法学科の学生は、2年次から2つのコースに所属します。企業法コース、国際コースがあります(詳しくはP.16)。</li> <li>● 専門科目が一気に増えます。ゼミも専門科目ごとに分かれます。法学部が認めるインターンシップは卒業単位になります(詳しくはP.17)。</li> <li>● 英語や国際交流に関心のある人は、「海外法政研修」がお勧めです(詳しくはP.10)。</li> </ul> <p><b>企業法コース</b> <b>国際コース</b> ※企業法務特修プログラム</p>	<p><b>専門科目の学習を深め、進路に向けて取り組む</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 所属コースの専門科目を中心に、自分の進路を意識して学習を深めます。</li> <li>● 専門科目は応用科目が多くなります。たとえば、金融商品取引法や企業取引決済法といった経営法学の最先端科目、国際私法(国際結婚などを取り扱います)、国際取引法、国際経済法など、国際的な問題に関わるさまざまな法律、さらには知的財産法、税法、観光法といった実践的科目があります。</li> <li>● 4年次は演習や卒業論文で法学部の学習の総仕上げをしましょう。</li> </ul> <p><b>法と経営、海外に関する幅広い知見と国際コミュニケーション力を生かし、社会を支える人材へ</b></p>	<p>卒業後</p>

### ゼミ紹介 畑中ゼミ | 演習Ⅰ(民法)

民法とともに、最近の法律ニュースを取り上げています。報告後は数名のグループで報告の良かった点と聞いてみたい点を話し合い、発表し、報告者が答えます。10月のゼミでは食品ロス削減推進法が報告され、「え、今月が削減月間だったの?」「そういえば、バイト先でこんな取り組みがありました」「衣服ロスも問題では」という感じで、みんなで勉強しています。



### 法学部の学習が役に立つ受験・資格

- ☑ 司法書士 ☑ 行政書士 ☑ 宅地建物取引士 ☑ 社会保険労務士 ☑ 税理士
- ☑ 国家公務員・地方公務員 ☑ 国税専門官 ☑ 裁判所事務官 ☑ 法科大学院 など

### 在学生の声



2年次生 西山 妃織 さん  
(福岡県 福岡大学附属大濠高校出身)

法律とビジネスを国際的な視点で学習。  
海外研修を経て行動派の自分に成長できた。

#### Q1 この学科の魅力は?

法律やビジネスを軸に学びながら、国際的な視野を広げ、英語力も伸ばせるところです。1年次から国際法に触れて国際感覚を磨き、裁判所訪問や模擬裁判などを通して現場に近い学びが体験できます。特に海外研修では、法律や経営の専門知識を英語で説明する経験を経たことで、グローバルに活躍できると自信ができました。

#### Q2 好きな授業は?

「国際コミュニケーション法政事情・海外研修」です。夏休みの2週間、シアトル大学(アメリカ)で授業を受けます。企業訪問や現地の学生との意見交換を通して法学と英語への関心が深まり、「国内の外国人を支えるパラリーガル」という目標が明確になりました。現地で積極的に対話を重ねる中で、夢に向かって自ら動き、学び続ける行動力が培われました。

#### 私の時間割(1年次前期)

	月	火	水	木	金
9:00		生涯スポーツ演習Ⅰ	憲法Ⅰ		
10:40	パワーアップゼミ		民法入門		
13:00		フレッシュマン・イングリッシュⅠ		国際コミュニケーション法政事情Ⅰ	
14:40			哲学A		フレッシュマン・イングリッシュⅡ
16:20	国際コミュニケーション法政事情Ⅰ				

集中講義 国際コミュニケーション海外研修

### 卒業生の声

身に付けた調整・伝達の力で  
複雑な市街地再開発事業を解決に導く。

本学科は、企業法務の知識だけでなく、ビジネスの実務能力が得られる点が大きな魅力です。民事訴訟法のゼミでは、複雑な課題を読み解き、論点整理し、解決策を導くプロセスを徹底的に訓練し、多様な視点や価値観を理解する重要性を学びました。正確かつ効果的に伝わる実践的なプレゼンテーションスキルを磨けたことや、刻々と変化する情報を自主的に学ぶ姿勢が身に付いたのも財産です。何事にも挑戦する「チャレンジ精神」で、未知の領域へ飛び込んだ経験が自分の原動力となっています。

私は地方銀行の不動産関連部署で、市街地再開発事業に従事しています。利害関係が複雑に絡みあう問題に対し、在学中に得た法的知識と課題解決力を生かして合意形成を後押しするなど、お客さまの安心につなげられることにやりがいを感じています。地域に根差した金融機関で、福岡の未来に貢献する想いを大切に日々精進していきます。



堤田 元 さん (2015年卒業)  
株式会社福岡銀行

# カリキュラム

(2026年度入学生適用) ●必修科目 ○選択必修科目 △選択科目



## ■ 法律学科

	1年次	2年次	3年次	4年次	
専門教育科目	●憲法I, II ●民法入門 ●民法総則 ○政治学入門 ○裁判制度概論 ○法学部入門ゼミ ○基礎ゼミ	○債権法I, II ○物権法I ○刑法I ○会社法I, II	○民法特講 ○民法特講II, III ○刑事法特講II	○憲法特講 ○民法特講II, III ○刑事法特講II ○演習II a, II b	
	法律総合コース △憲法III △行政法I △物権法II △親族法 △商法総則 △商行為法 △経済法	○民法特講I ○刑事法特講I ○政治学原論 ○演習I	△債権法III △相続法 △民事訴訟法I, II △刑法II △刑事訴訟法 △手形・小切手法 △金融商品取引法	△企業金融法 △保険法 △海商法 △知的財産法 △税法IA, IB, IIA, IIB △民事執行・保全法 △倒産処理法	△不動産登記法 △商業登記法 △国際私法 △国際取引法 △国際民事手続法 △法哲学
	公共法務コース △憲法III △行政法I △物権法II △親族法 △国際法総論 △国際関係論	△経済法 △ミクロ経済学概論 △マクロ経済学概論	△行政法II △地方自治法 △比較憲法 △債権法III △相続法 △民事訴訟法I, II	△刑法II △刑事訴訟法 △刑事政策 △国際法各論 △税法IA, IB △社会保障法	△環境法 △情報法 △政治過程論 △行政学 △法哲学 △行政特別演習I, II
	総合政策コース △行政法I △労働法 △国際関係論 △ミクロ経済学概論 △マクロ経済学概論 △日本政治外交史	△西洋政治史 △政策過程論	△行政法II △地方自治法 △社会保障法 △環境法 △情報法 △政治過程論	△行政学 △政治思想史 △政策評価論 △都市政策 △九州地域政策 △福祉国家論	△社会福祉概論 △地域福祉論 △NPO論 △マスメディア論 △政策特別演習I, II
△公共政策概論 △アメリカ法セミナーI △特別講義A	△情報処理論A, B △特別講義B	△日本法制史 △西洋法制史 △東洋法制史 △ローマ法 △近代日本法史 △児童福祉論 △法医学 △警察活動の理論と実務 △特別講義C △特別講義D △特別講義E △アジア法セミナーII △ドイツ法セミナーII	△フランス法セミナーII △アメリカ法セミナーIII	△大学院連携特別演習I, II △卒業論文	
関連教育科目	他学部の授業科目のうち法学部教授会が適当と認める授業科目				

## ■ 経営法学科

	1年次	2年次	3年次	4年次	
専門教育科目	●民法入門 ●民法総則 ○憲法I, II ○裁判制度概論 ○企業法入門 ○国際関係学入門 ○法学部入門ゼミ ○パワーアップゼミ ○国際コミュニケーション・法政事情I, II ○国際コミュニケーション海外研修	○債権法I, II ○物権法I ○会社法I, II ○企業法総論	○企業取引法 ○民法特講I ○演習I	○民法特講II, III ○演習II a, II b ○企業法務特別演習	
	企業法コース △行政法I △物権法II △親族法 △経済法 △労働法 △ベンチャー起業と法 △消費者法	△海外法政事情I, II △海外法政研修	△債権法III △相続法 △民事訴訟法I, II △企業金融法 △企業取引法 △商事法総合講義 △金融商品取引法	△保険法 △中小企業と法 △知的財産法 △不動産登記法 △商業登記法 △民事執行・保全法	△倒産処理法 △税法IA, IB, IIA, IIB △環境法 △観光法 △インターンシップ
	国際コース △国際法総論 △国際関係論 △外国法論 △英米法 △ドイツ法 △フランス法 △アジア法 △EU法	△西洋政治史 △海外法政事情I, II △海外法政研修 △アジア法セミナーI △ドイツ法セミナーI △フランス法セミナーI △アメリカ法セミナーII	△国際法各論 △海商法 △知的財産法 △環境法 △比較憲法 △観光法 △NPO論 △マスメディア論 △西洋法制史	△外交史通論 △アジア法セミナーII △ドイツ法セミナーII △フランス法セミナーII △アメリカ法セミナーIII △インターンシップ	
	△政治学入門 △アメリカ法セミナーI △特別講義A	△刑法I △政治学原論 △法社会学 △情報処理論A, B △キャリアプランニング △概説日本史 △概説外国史 △概説社会学 △概説哲学	△法哲学 △東洋法制史 △ローマ法 △近代日本法史 △警察活動の理論と実務 △特別講義C △特別講義D △特別講義E	△大学院連携特別演習I, II △卒業論文	
関連教育科目	他学部の授業科目のうち法学部教授会が適当と認める授業科目				





# 01 法学部の海外研修プログラム

法学部の海外研修プログラムは、

- ①専門分野でのグローバルコミュニケーションの基礎力の養成
- ②世界へ飛び出そうとするチャレンジ精神の養成
- ③グローバルな人材になれるという自信の養成

を目的としています。そのために、入念な事前学習と現地での実践的学習を行います。

現地では、自分の英語力、知識、判断力、コミュニケーション力をフルに活用し、実践の中で、語学力も専門スキルも伸ばしていきます。

## ■ 1年次：ロサンゼルス研修(アメリカ合衆国)

※年によって研修地等の変更の可能性あり



※シアトル研修時の写真

ロサンゼルス研修(「国際コミュニケーション」)は、経営法学科1年次の選択必修科目です(法律学科は選択科目)。2001年にスタートし、今日に至っています。

参加学生は、1年次の前期(4~7月)に事前準備を行います。ゼミ形式で、英語も使いながら、アメリカの法律や政治、自分たちで決めたテーマの学習をします。

現地研修は、1年次の夏休みに、ロサンゼルスで行われます(約2週間滞在)。現地大学施設で授業を受けるほか、テーマ学習を踏まえた英語でのプレゼンテーションとディスカッション、企業などでの聴き取り調査を行います。これまで、「不利な立場にある企業家の支援」、「カップケーキベーカー業」など、多様なテーマで学習してきました。この他、裁判所など大学以外の機関も訪問します。宿泊先はホームステイです。

現地研修から帰った後は、事後学習を行います(9月~翌年1月)。事前学習と現地研修の成果を振り返り、研修報告書を作成します。

これまでの研修報告書は、法学部のウェブサイトに掲載されています。ぜひご参照ください(「福岡大学法学部」+「海外研修」で検索してください)。

1年次の夏休みに海外研修を行うプログラムは、全国の法学部でも珍しく、福岡大学法学部の特色の一つとなっています。

## ■ ドイツ・カッセル大学

福岡大学法学部は、カッセル大学経済学部経営法学科と国際交流協定を結んでいます。カッセル大学は、ドイツ・ヘッセン州の州立大学であり、多数の学部を持つ総合大学です。カッセル市は、グリム童話で有名なグリム兄弟が活躍した場所であり、また、世界遺産のヴィルヘルムスヘーエ城があるなど、風光明媚な街です。

国際交流協定プログラムの一環として、2023年度はカッセル大学のジルケラスコウスキー教授と同大学の学生達が福岡大学を訪れ、福岡大学法学部の学生達と合同で研修を行い、合同ゼミで相互に発表をしたり、一緒に観光したりと、国際交流を実施しました。

## ■ 2年次以上

2年次以降にも海外研修プログラム(「海外法政研修」他)があります。1年次の研修に参加していなくても、参加できます。

2年次以降の海外研修も、教員と一緒にじっくりと事前学習をした上で、現地で実践的な学習を行います(約2週間滞在)。

2年次以降のプログラムは、2002年にスタートし、今日に至っています。

### 【2年次以降の研修地】

研修地はプログラム実施年度の前年度に決定されます。今後、ニュージーランドの首都ウェリントンでの研修を予定しています。なお、過去の研修地は、オタワ、北京、ブリュッセル(ベルギー)、サンタバーバラ(アメリカ合衆国)、瀋陽、ハルビン(中国)、ハワイ、西安、ヴァレンシア(スペイン)、ウェリントン(ニュージーランド)、ワシントンDC、カッセル(ドイツ)などです。



カナダ 首都オタワ(国会議事堂)



ニュージーランド 首都ウェリントン(研修で訪問した消防署)



Universität Kassel

# 02 充実した少人数教育

## — 入学から卒業まで一貫したゼミ制度 —

### ■ 多彩な法学部の少人数教育

法学部ではゼミを中心として充実した少人数教育を実施しています。法学部の少人数授業科目には大別して、①1年次向けの「法学部入門ゼミ」「基礎ゼミ」「パワーアップゼミ」、②2年次以上の学生を対象とした「演習」、③「特別演習」「特講」「外国法セミナー」といった特定の学科または特定の目的のために設置される少人数授業科目があります。

1年次向けの少人数授業科目のうち、「法学部入門ゼミ」は、高校の学習と大学の学習を架橋することを目的とするもので、原則として新入生全員が所属する全員登録科目(必修ではないが、登録を義務づけられる科目)です。「基礎ゼミ」は、公務員の仕事に興味のある法律学科の1年次を対象とするもので、希望者から選考によって履修者を決めます。東京研修とセットになっているのが特徴です。(詳細はP.12のトピックス03を参照)。「パワーアップゼミ」は、英語力を高めたい経営法学科の1年次を対象とするもので、希望者から選考によって履修者を決めます。

2年次以上の学生を対象とする「演習」は、2年次対象の「演習I」、3年次対象の「演習II」、4年次対象の「演習III」、3・4年次合同で行う「演習IIa」「演習IIb」があります。必修科目または全員登録科目ではありませんが、ほとんどの学生がいずれかの演習に登録・履修しています(演習については以下の記事を参照)。

「特別演習」「特講」「外国法セミナー」は、公務員、法科大学院進学その他、特定の目的のために設置される少人数授業科目で、意欲ある学生の需要に応じています。

### ■ 個性あふれるゼミの紹介



#### 国際私法 北坂ゼミ

国際私法・国際取引法・国際民事手続法に関する時事問題を取り上げています。社会で現実起こっている問題の本質を考え、法律的に考えています。



#### 憲法 城野ゼミ

今日のテーマは「外国人の地方参政権を認めるべきかどうか」。発表班の報告をもとに、全員で意見を出し合い、ディスカッションをします。



#### 基礎ゼミ 菅原ゼミ

「基礎ゼミ」は1年次対象のゼミであり、公的機関(中央政府や地方自治体)の役割や公務員の仕事などについて学びます。



#### 税法 芳賀ゼミ

国際税法のゼミです。所得税や法人税から始めて、国際取引にかかる租税について学びます。学生が主体となって進めていきます。

### 多彩な内容の講義

法学部では、現代社会で生じている問題に対して、法的な切り口から検討する特別講義(A~E)も開講しています。この科目は、法律学科・経営法学科両方の学生が受講できる科目です。2026年度は、「スポーツと法」、「ジェンダーと法」、「SDGsと法」、「不動産鑑定の実務」というテーマの特別講義を開講します。社会と法が直結していることを実感してください。

## 03 公務員・法曹等を目指す学生をサポート

法学部は、公務員や法曹その他の法律専門職を目指す学生の支援の取り組みを実施しています。ここではその取り組みのいくつかを紹介します。

### ■基礎ゼミ —公務員の仕事を実際に見てみる「東京研修」—

法学部では、福岡大学独自の「特色ある教育」の一つとして、法律学科の新入生から希望者40人程度を募って、「基礎ゼミ」を開講しています。「基礎ゼミ」では、大学での学習の基礎となる文献調査や演習での課題報告を経験しながら、座学だけでなく、研究発表、実際の役所や公的施設への訪問といったさまざまな方法で、社会の中での政府の役割や公務員の仕事について考えていきます。このため、年間を通じて県庁、市役所、裁判所といった福岡市近在の官公署への訪問・見学を行うだけでなく、夏休みなどの期間を利用して、東京への研修旅行を実施しています。訪問先は、国会や最高裁判所の他、内閣府、総務省、警察庁、東京大学など幅広い候補から選ばれています。これらの訪問では特に、官庁や自治体等の現場で働く公務員の方から話を伺うなど具体的な経験を通じて、こうした仕事に就くことの意味を自ら考え、将来に向けた各自の目標をより明確なものにしていくことを目指しています。



### ■法律特修プログラム —公務員・法科大学院進学希望者をサポート—



2020年度新入生以降は、同プログラムに「法曹クラス」が新設され、いわゆる「法曹コース」として文部科学省から認定を受けました。授業の成績の他、必要に応じて実施される筆記試験や面接試験に基づいて選考がなされます。このクラスの修了者は、在学3年目で本学法科大学院（ロースクール）の既修者コース（2年コース）の特別選抜\*を受験することができ、早期卒業制度\*\*を利用することにより、学部入学から最短6→5年で法曹になれる道が開かれることになりました。もちろん、法曹になるためには法科大学院を修了し、司法試験に合格しなければなりません。法学部は法科大学院と連携して、法曹を目指す学生を支援していきます。

\*論文式試験を課さずに本法曹クラス成績等に基づき合否判定を行う入学者選抜で、「5年一貫型教育選抜」といいます。

\*\*早期卒業制度（詳しくはP.17）。

### ■公務員試験等研究部会（課外講座）

法学部では課外講座として従来から公務員試験等研究部会を設置して、司法試験や公務員試験の合格を目指す学生を幅広く支援してきました。

現在の研究部会には、大きく言って二つの柱があります。まず第一は、法科大学院（ロースクール）受験対策クラスです。このクラスは、現役の弁護士である講師を招聘して、ロースクールの既修者コースの受験に必要な憲法、民法、刑法の試験対策を2年次からの約3年の期間、少人数のクラスで個別指導を交えてみっちり行います。このクラスからは毎年、全国の有名ロースクールへの合格者が出ています。

第二の柱は、一般クラスです。このクラスでは教養基礎講座、民法基礎講座、憲法基礎講座を設けて、レベルに応じた効果的な学習プログラムを組んで試験対策を支援しています。

その他、研究部会では、司法書士試験に対応した特別クラスも開講しています。



## 04 本物にふれた。 来てよかったと日記に書いた。 「福岡大学ヨーロッパ法コレクション」

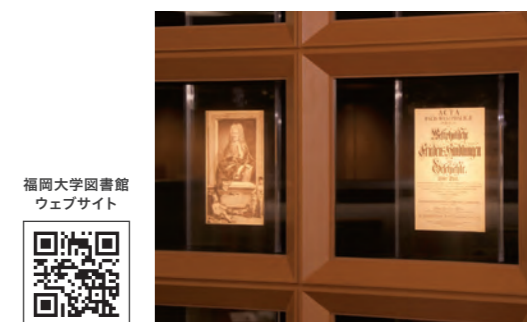


法律学は、ローマ法以来、2000年以上の伝統を持つ学問です。天にそびえるゴシック教会のように、古代・中世・近世・近代と、礎石からはじまって尖塔まで、営々として積み上げられ、いまなお建築中の学問です。緻密にして重厚、広大にして深遠な学問です。人類が長い年月をかけて築き上げてきた法律学の伝統を謙虚に学び、若い皆さんに伝えることも、われわれ福岡大学法学部スタッフの使命です。

福岡大学図書館の一室に「貴重書庫」があります。そこには、「福岡大学ヨーロッパ法コレクション」と呼ばれる、膨大な法律文献集成があります。この書庫に入ってみましょう。きっと、ローマ法以来のヨーロッパ法が醸し出す伝統の重みに圧倒され、学問の迫りに身震いするでしょう。

「福岡大学ヨーロッパ法コレクション」は、15世紀以来19世紀にいたるヨーロッパの法律文献を集成した文庫です。その大半は『ローマ法大全』原典とその注釈書から成っています。その中には、わが国はもちろんのこと、世界でも、この福岡大学にしかない貴重な本もあります。

これらの書物をひもとけば、現代社会がかかえる、さまざまな法律問題について、その解決のためのヒントが見つかります。わが国のみならず世界各国から、いろいろな研究者の方々が、福岡大学を訪れ、このコレクションを利用してきました。ローマ法研究の世界的権威・故ヘルムート・コイニング先生の感想を紹介しましょう。「このコレクションは、ヨーロッパ人にとっても有益である。ここでは、さながらヨーロッパにいたるかに研究できる。これは、ローマ法という学問がいかに世界中で通用する学問であるかを物語っている」。福岡大学に入学して、本物の学問に触れてみませんか。なお「福岡大学ヨーロッパ法コレクション」は現在、その総目録がDVDに収められています（2004年度、私立大学図書館協会賞を受賞）し、福岡大学図書館のウェブサイトでもご覧になれます。お試しあれ。



福岡大学図書館  
ウェブサイト



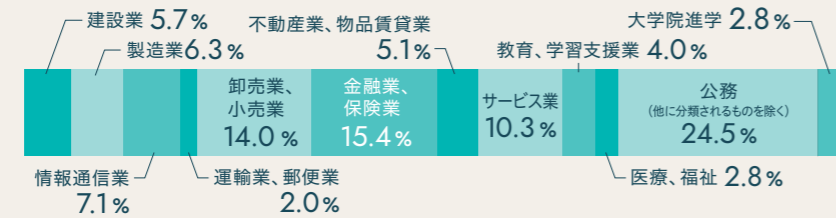
# 就職

一般企業への就職が中心ですが、国家公務員、市町村職員、警察官、消防官、教員、法律専門家、大学院進学などの進路を選択する卒業生も多いです。さまざまな進路が広がっていることも福岡大学法学部の魅力の1つです。

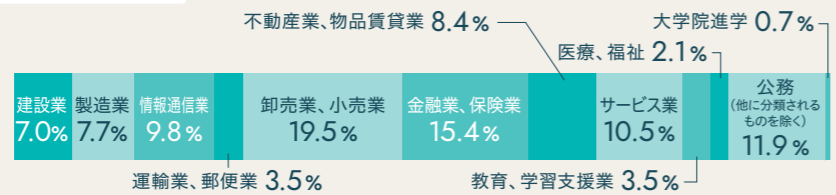
## 主な就職・進路先 (業種別)

[2025年度卒業生実績]

### 法律学科



### 経営法学科



## 就職・進路先の例 (企業名別)

[2023年度~2025年度]

### 公務 (他に分類されるものを除く)

- 国家公務員一般職
- 裁判所事務官一般職
- 国税専門官
- 法務省専門職員(人間科学)
- 海上保安官
- 福岡県庁
- 佐賀県庁
- 熊本県庁
- 長崎県庁
- 大分県庁
- 鹿児島県庁
- 山口県庁
- 福岡市役所
- 北九州市役所
- 久留米市役所
- 佐賀市役所
- 福岡県警察本部
- 福岡市消防局

### 建設業

- (株) 竹中工務店

### 製造業

- (株) 安川電機
- TOPPAN (株)
- (独) 国立印刷局
- 久光製薬 (株)
- トヨタ自動車九州 (株)
- (株) 正興電機製作所
- TOTO (株)

### 電気・ガス・熱供給・水道業

- 九州電力 (株)
- 西部ガス (株)

### 情報通信業

- JALデジタル (株)
- NTTドコモソリューションズ (株)
- (株) NTTデータ九州

- (株) ゼンリン
- (株) 読売新聞西部本社
- NTT西日本 (株)
- ソフトバンク (株)

### 運輸業、郵便業

- 九州旅客鉄道 (株) (JR九州)
- 西日本鉄道 (株)

### 卸売業、小売業

- 西部ガスエネルギー (株)
- (株) 日本アクセス
- (株) 良品計画

### 金融業、保険業

- 三井住友信託銀行 (株)
- (株) みずほ銀行
- (株) 福岡銀行
- (株) 西日本シティ銀行
- 大和証券 (株)
- 明治安田生命保険 (相)

- 損害保険ジャパン (株)

### 不動産業、物品賃貸業

- 福岡国際空港 (株)

### 生活関連サービス業、娯楽業

- (株) JT B

### サービス業 (他に分類されないもの)

- (株) JAL ナビア

### 大学院

- 福岡大学 大学院
- 福岡大学 法科大学院
- 神戸大学 大学院
- 熊本大学 大学院
- 九州情報大学 大学院

など

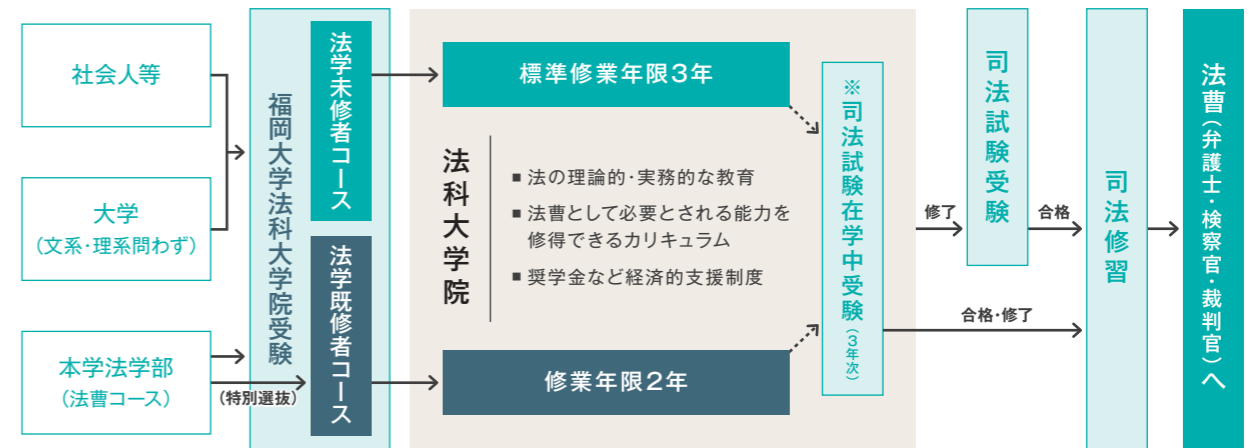


# 福岡大学大学院法曹実務研究科 (法科大学院)

法科大学院は、法曹(弁護士、裁判官、検察官)を養成することを目的とする専門職大学院です。本法科大学院では人間性豊かで専門性を備えた真のプロたる法曹を育成します。

法曹コース修了後、特別選抜を経て入学し、司法試験在学中受験を活用すると、学部入学から最短5年で司法試験に合格することができます。

## 福岡大学法科大学院から法曹へのプロセス



※[司法試験在学中受験プログラム]を履修し、受験資格の要件を満たす必要があります。

本法科大学院は法曹を目指す福岡大学法学部の学生を支援します。

### 5年一貫型教育選抜(特別選抜)

本学法学部法曹コース修了見込かつ、早期卒業見込者は、在学3年目で本法科大学院の既修者コース(2年コース)の特別選抜を受験することができます。学部入学から最短5年で司法試験合格への道が開かれています。

### 福岡大学高田法曹育成基金奨学金

本学法学部を卒業して本法科大学院に入学し、成績が優秀と認められたものに対して給付するものです。原則として返還義務はありません。この奨学金は、本学高田桂一名誉教授から、本学法学部出身の法科大学院生を対象とする給費奨学制度の創設を目的とした寄付により設立されたものです。

### 早期履修制度

本学法学部の早期卒業予定者または4年次以上の卒業見込者で、本法科大学院への進学希望者は、法学部長および法科大学院長の許可を得て、本法科大学院の授業科目を無料で履修できます。修得した単位は、本法科大学院進学後に法科大学院の修了要件単位として申請し、承認されれば既修得単位として認定されます。

## 司法試験合格実績

本法科大学院は、これまでに94人の合格者を輩出しています(2025年11月現在)。そのうちの30人が福岡大学出身者です。

### 司法試験合格者の声

指山 隼治さん  
(福岡大学 法学部 出身)

私は福岡大学法学部法律学科を卒業しており、福岡大学法科大学院であれば、生活環境を変える必要がないため勉強に集中できると思い進学しました。本法科大学院で学ぶ中で特に印象深かったのは、司法試験に合格された先輩の多くが自習室に閉館ギリギリまで残って勉強されていた光景です。私もできる限り自習室の閉館時間まで残って勉強するようになりました。司法試験を受験するにあたり、自分は入学した時点で他の受験生に大きく後れを取っていると考えていたので、周りに追いつくために勉強時間を増やすことに注力しました。趣味の時間を削ったり食事の回数を減らしたりと、きつい時期もありましたが諦めず取り組めて良かったです。また、高田法曹育成基金奨学金の給付を受けていたので、試験勉強に集中することができ、本当に助かりました。

法科大学院公式ウェブサイト  
<https://www.ilp.fukuoka-u.ac.jp/>



# 法学部 Q&A

## Q1 法学部の特色を教えてください。

社会の規範となる法を学び、社会におけるさまざまな問題をバランスよく解決する思考方法(リーガルマインド)や技術を身に付けることによって、豊かな人間性を育むことを目的とした学部が法学部です。

法学部で習得した法律知識とリーガルマインドは、卒業後、法曹(裁判官・検察官・弁護士)、公務員や企業などのさまざまな分野において、国内的・国際的に、生かすことができます。特に、法科大学院を卒業することが原則である法曹の一員となるためには、最速・最適の学部が法学部であるといえます。



## Q2 カリキュラム上の特色は何ですか。

本学部のカリキュラムは、法律学科の3コースと経営法学科の2コースに分かれ、多彩な講義科目および演習科目が開講されています。学生の興味や関心、将来計画に沿った系統的・効率的な学習ができるように構成されています。

また、法曹や公務員試験を目指す学生のためのサポートを行っています。(法学部トピックス03参照)



## Q3 法律学科と経営法学科の違いは何ですか。

法律学科は、広く社会に対応できる法律学と政治学に関する知識を深く学ぶことを主な目的としているのに対して、経営法学科は、企業法制に関する知識や国際的な視野を身に付けることを主な目的としています。

### ■法律学科

大学院進学・法律系資格の取得・一般企業への就職を目指す「法律総合コース」、公務員・外交官・公共団体職員を目指す「公共法務コース」、公務員・政策スタッフ・社会福祉団体職員・NPO・マスコミなどをめざす「総合政策コース」があります。

●法律総合コース… 六法科目をコア科目として、法律を幅広く総合的に学習します。  
●公共法務コース… 憲法、行政法、国際法をコア科目として、公法科目を中心に学習します。  
●総合政策コース… 政治学をコア科目として、政策系・福祉系科目を中心に学習します。

### ■経営法学科

企業法務に精通したビジネスパーソンとして活躍したい人や起業を目指す人のための「企業法コース」、国際的な分野において活躍したい人のための「国際コース」があります。

●企業法コース… 会社法などの企業法および知的財産法、経済法、税法などの企業関連法をコア科目として学習します。  
●国際コース… 国際関係法、外国法・外国政治および海外研修科目をコア科目として学習します。

## Q4 「ゼミ」とは何ですか。

「ゼミ」とは、少人数のクラスの中で、学生と教員が密接に触れ合いながら、さまざまな問題をより深く追求していく授業のことです。法学部の授業の中では、「演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅱa・Ⅱb・Ⅲ」、「法学部入門ゼミ」や「基礎ゼミ」などが「ゼミ」と呼ばれるもので、全学年で開講されています。

「ゼミ」では、いろいろな問題を学生が自ら考え、「ゼミ」の仲間や教員と討論します。法的な思考方法を高めることの他、少人数クラスならではの深い友情を築くことができるのも特徴です。意欲のある学生は、4年間の学習の集大成として、卒業論文を作成することもできます。

(法学部トピックス02参照)



## Q5 法学部入門ゼミ・クラス担任について教えてください。

法学部では、新入生のために1年前期に「法学部入門ゼミ」を開講し、高校での勉強から大学での勉学への橋渡しをスムーズに行うことができるように、大学での学習方法や法学・政治学の入門的知識を身に付けてもらうようにしています。また、クラス担任をおき、学生の学習に関する相談に応じたり、アドバイスをしたりする他、必要に応じて修学指導を実施するなど、同一教員が4年間サポートする態勢をとっています。



## Q6 海外研修と早期卒業制度について教えてください。

1年次の国際コミュニケーションの科目(経営法学科は選択必修科目)で、アメリカにおける現地研修(\*年によって研修地等の変更の可能性あり)を実施。また2年次以降も、海外での現地研修が行われます。(法学部トピックス01参照)

また、法学部では、本学の法科大学院または法学研究科その他本学の大学院に進学する学生のために、3年間で学部教育を修了できる早期卒業制度を用意しています。この制度は、一定の優秀な成績をあげた学生に認められるもので、毎年、何名かの学生が早期卒業制度を利用して本学の法科大学院や法学研究科に進学しています。早く法曹や研究者になりたい、早く資格等を取得したいと考えている人には大変意義のある制度といえるでしょう。



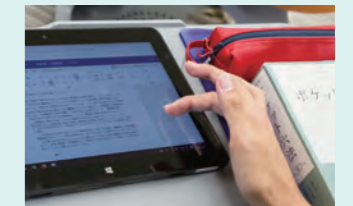
## Q7 卒業生の進路傾向について教えてください。

本学部は創設以来、産業界をはじめ、法律専門家、国家・地方公務員、警察官・消防職員、中学校・高等学校教員など、多くの優秀な人材を社会に送り出しています。産業界の好・不況にかかわらずさまざまな分野から毎年安定した求人募集があるのも、本学部の学生に対する期待の大きさの現れだといえます。(P.14参照)



## Q8 インターンシップ科目について教えてください。

経営法学科の学生は、法学部が認めるインターンシップを卒業単位に含めることができます。単位数は2単位です。インターンシップの前後に法学部による指導が行われます。



詳しい情報は法学部ウェブサイトをご覧ください。

福岡大学法学部 ウェブサイト  
<https://www.law.fukuoka-u.ac.jp/>

